

令和3年8月4日

西部農林水産振興センター県央事務所邑智農業部

標 題	早期の法人設立を目指して地域農業を守る仕組みを作る研修会を開催しました！！
-----	---------------------------------------

(ダイジェスト)

県央地域では、集落営農組織(77組織、うち法人は27)が水田農業の担い手として重要な役割を果たしています。しかし、担い手不在集落も依然としてあることから、中山間地域直接支払協定等の既存の組織や、農業者のグループを対象に早期の法人設立の支援することを目的として、「地域農業を守る仕組みを作る研修会」を開催しました。

邑智郡農林業振興協議会は、7月31日JAしまね島根おおち地区本部管内の組織・グループを対象に、「第1回地域農業を守る仕組みを作る研修会」を開催しました。この研修会はこれまでの組織化・法人化研修と違い、集落全体での法人化ではなく、合意形成のとりやすい3～5名程度の少人数での法人設立を目的としています。JAの広報誌等を活用し、チラシを全戸配布するなど周知をはかり、管内6組織から参加がありました。

当日は、邑智農業部の清水専門農業普及員が「地域を守り続ける法人の必要性」と題し、集落営農の基礎的な内容についての説明とワークショップをおこないました。現状や困っていることなどを各組織から発表してもらい、組織の状況を把握しました。研修終了後も積極的に質問があり、法人化への意欲の高さを感じられました。今後は、県内の少人数での法人設立を実際におこなった組織から講師を招待し事例紹介をしてもらうなど理解を深めてもらい、年度内での法人設立に向けて取り組んでいきます。

邑智農業部では、法人の設立に向けた合意形成や事業計画や収支計画の作成を支援し、他の関係機関とともにアドバイザーとして参画します。今後も、設立支援を行い、集落営農法人の設立や担い手不在地域の解消などの取り組みを支援していきます。



邑智農業部清水専普による仕組み作り研修



熱心に受講する参加者